



2022年9月29日

各 位

上 場 会 社 名 マルハニチロ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 池見 賢
(コード番号 1333 東証プライム)
問合せ先責任者 経営企画部
IR グループ 部長役 目時 弘幸
(TEL. 03-6833-1195)

本邦初となる「ブルーボンド」発行に関するお知らせ

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢、以下、当社）は、国内市場において公募形式によりブルーボンド（第1回無担保社債）を発行する予定であり、次頁のとおり、発行年限・発行額・発行時期等について本日9月29日（木）に決定し、本発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局に提出いたしましたのでお知らせいたします。ブルーボンドとは海洋保護等に係る事業資金を調達する債券であり、この度の発行は本邦初となります。












今回の起債に際し、当社では、「ブルーファイナンス・フレームワーク^{*1}」を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定めるグリーンボンド原則（GBP）2021、環境省の定めるグリーンボンド（ローン）及びサステナビリティ・リンク・ボンド（ローン）ガイドライン 2022年版、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション・アンド・トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定めるグリーンローン原則 2021並びに国際金融公社（IFC）の定める Guidelines for Blue Finance に基づき策定しており、これらの原則等との適合性に対するセカンド・パーティ・オピニオン^{*2}を株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しております。

記

1. 背景・目的

当社は、本年3月に公表した中期経営計画「海といのちの未来をつくる MNV 2024」において、経営戦略とサステナビリティの統合により、すべてのステークホルダーに対して Maruha Nichiro Value (MNV) を創造し、企業価値向上と持続的成長を実現することを掲げております。MNVの創造にあたっては、事業の継続性を担保する土台である経済価値の最大化に向けた経営戦略を着実に実行しつつ、環境価値・社会価値の最大化を目指します。加えて、長期的な地球環境の課題を認識し、世界 No.1 の水産会社として、気候変動、水産資源減少リスクなどを踏まえた地球環境との共生や、サプライチェーンの人権リスクへの対応など、当社グループが果たすべき役割を明確にし、「環境価値」及び「社会価値」の最大化を目指します。

● 環境価値の創造に関するマテリアリティ

	マテリアリティ	KGI(2030年の ありたい姿)	主なKPI	ターゲット		関連する 主なSDGs
				目標値	目標年	
環境価値の創造	①気候変動問題への対応	脱炭素や気候変動に対して業界における主導的地位を確立している	CO ₂ 排出量削減ロードマップ策定 (国内G*)	-	2022	 
			CO ₂ 排出量削減率 (2017年度比:国内G)	30%以上	2030	
			カーボンニュートラル達成(G全体*)	-	2050	
	②循環型社会実現への貢献	効率的な資源利用によるサーキュラーエコノミー(循環型経済)がグループ内に浸透し、実践している	プラスチック使用量削減率(バイオマス、リサイクル素材等への切替含む)(MN*)	30%以上	2030	   
			フードロス(製品廃棄)削減率(国内G)	50%以上	2030	
			食品廃棄物等の再生利用率(国内G)	99%以上	~2024	
	③海洋プラスチック問題への対応	自社を含むサプライチェーン上で海洋へのプラスチック排出ゼロを実践している	漁具管理ガイドラインの策定と運用率(G全体)	100%	2024	  
			海岸クリーンアップへの従業員参加率(国内G)	30%以上	2030	
	④生物多様性と生態系の保全	取扱い水産資源について、資源枯渇リスクがないことを確認している	取扱水産物の資源状態確認率(G全体)	100%	2030	 
			生物多様性リスク評価実施(国内G)	-	2024	
			養殖場の認証レベル管理の実施(国内G)	-	2024	

今後は、「環境価値」の創造実現に向けた活動の必要資金について、策定したフレームワークに基づき、サステナブルファイナンスを積極的に活用し、環境課題解決への貢献を一層進めてまいります。

尚、今次ブルーボンドの発行により調達する資金は、主に環境持続型の漁業・養殖事業等に充当します。

2. ブルーボンドの概要

(1) 発行年限	5年(予定)
(2) 発行額	50億円(予定)
(3) 発行時期	2022年10月下旬(予定)
(4) 主幹事証券会社	みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
(5) ストラクチャリング・エージェント※3	みずほ証券株式会社
(6) 資金使途	<p>環境持続型の漁業・養殖事業</p>          

※1 当社のブルーファイナンス・フレームワーク

https://www.maruha-nichiro.co.jp/corporate/ir/stock/bond/pdf/blue_finance_framework.pdf

(当社ウェブサイトへリンク)

※2 株式会社格付投資情報センター (R&I) によるセカンド・パーティ・オピニオン

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html> (R&I ウェブサイトへリンク)

※3 ストラクチャリング・エージェントとは、ブルーファイナンス・フレームワークの策定及びセカンド・パーティ・オピニオン等の外部評価取得に関する助言等を通じて、ブルーファイナンスの実行支援を行う者のことです。

以 上